



みどりの風

平成30年 5月号 在籍児童数473名

学校教育目標

- 自ら考えのびる子
- 思いやりのある子
- 進んで体をきたえる子

145年間地域に愛され続けている学校 ～開校記念日によせて～

校長 大島 薫

木々の新緑がまぶしい季節になりました。篠津小の朝は、子どもたちの元気なあいさつで始まります。登校後第1校庭では、おにいさん、おねえさんに混じって1年生が朝マラソンに取り組んでいます。第2校庭では、6年生が陸上大会に向けて練習に励んでいます。日ごとに篠っこがたくましく成長しているのを感じます。

さて、5月9日は、篠津小学校の開校記念日です。篠津小学校の歴史は、明治6年（1873年）開校の「篠津学校」にさかのぼります。江戸時代から教育熱心な地域だったこともあり、明治の新しい教育制度（学制）のもと「篠津学校」が誕生しました。篠津小学校は、歴史の大きな転換期にいち早く誕生した、地域に愛された学校なのです。

そののち「篠津学校」は、明治22年（1889年）の町村制施行により「篠津村立尋常小学校」となりました。校長室には、初代校長の荻野重三郎先生をはじめ、それぞれの時代に篠津の子どもたちを愛し育ててくださった校長先生方の写真が飾られています。また本校では「篠津尋常小学校」と書かれている賞状盆を今でも使っています。歴史のバトンは、確実に今につながっています。

明治時代からの歴史に加えて、篠津小学校には新たな歴史も刻まれています。男性保護者有志の皆様による「おやじの会」は今年で10年目を迎えました。新学期最初の土曜日には、「おやじの会」の皆様が子どもたちの机やいすの高さの調整作業をしてくださいました。「子どもたちのためだから」と笑顔で手際よく作業していただいたおかげで、子どもたちは毎日学習に集中することができます。

時代を超え、今も地域や保護者の皆様に愛されている篠津小学校。間もなく145回目の開校記念日を迎え、新たに146年目の歩みが始まります。開校記念日を前に、本校を支えてくださっている皆様に改めて感謝を申し上げます。今後ともご支援ご協力をお願いいたします。

